

1 はじめに

千葉森林管理事務所は、千葉県全域を管轄区域としており、君津市、富津市、勝浦市、大多喜町等県内11市町に所在する約7千8百ヘクタールの国有林を管理しています。

その多くが房総半島の南部に位置していますが、海岸線にも潮害防備保安林等が点在するなど、管理する国有林は県北東部の犬吠埼周辺から房総半島南端まで広範囲に及んでいます。

国営公園や県立自然公園等に指定された風光明媚な箇所も多く、首都圏はじめ各地から多くの観光客が訪れます。また、国有林の9割は水源かん養保安林として地域の水瓶となっており、保安林機能の高度発揮と風致等に配慮した管理経営に努めています。



かのうざん
鹿野山から望む東京湾と富士山

2 管内の紹介

管内には様々な特徴がある森林があります。夷隅川、養老川の源流域にある国有林は、起伏に富んだ複雑な地形にモミ・ツガの針葉樹とシイ・カシの広葉樹が混交した自然林、整備されたスギ・ヒノキ人工林、歴史ある樹木見本林で構成されています。筒森地区レクリエーションの森に設定されており、人造湖に映える美林や樹木見本林等がある「筒森自然観察教育林」や、標高300mの低山にも関わらず眺望等が楽しめる「麻綿原風景林」に多くの利用者が訪れます。

樹木見本林は、林野庁職員の研修用に大正14年から昭和3年にかけて植栽・造成されたもので、国内外60科・269種の樹木が展示されています。また、筒森自然観察教育林内の溪流があるエリアは、深山の溪谷の趣きがあり、親水広場として親しまれ、TVや映画の撮影地としてもたびたび使われています。



大正から昭和初期に造成された樹木見本林



筒森自然観察教育林内にある勝浦ダム



深山の溪谷の趣きがある親水広場
しんすい

外房の鴨川市小湊地区にある国有林は、急峻でその一角は太平洋に沈み込み、その昔、日蓮聖人の誕生を祝って鯛が浅瀬で群れ泳いだと言い伝えられる「鯛ノ浦」周辺の風景を形成し、風光明媚な景勝地となっています。また、この区域は急峻な国有林に集落や観光旅館等が近接していることから、急傾斜危険地区に指定されており、日頃から既設の治山施設の点検に努めています。



鯛ノ浦海岸
(急峻な崖が越ヶ谷国有林)



国有林治山施設と保全対象（集落・旅館等）

また、昨年、君津市内に突如として観光地が生まれました。「亀岩の洞窟」といい（濃溝の滝とも呼ばれています）、千葉県上総地方で多く見られる江戸時代に造られた農業用の川廻し（蛇行した河川を人工的に短絡させる工法）のための隧道です。洞窟の中に差し込む日の光が岩肌と川面を照らす様子が幻想的だとして、その写真がSNSで拡散されたことをきっかけにTVでも紹介され、多くの観光客が訪れています。



亀岩の洞窟
(洞窟からの光と川面を照らす様子がハート型に見えます)



多くの観光客が訪れる亀岩の洞窟

3 管内国有林の特徴

(1) 房総半島南部の国有林

千葉森林管理事務所管内の国有林の大部分は、房総半島の南部にあり、千葉南部森林計画区として管理しています。館山市、木更津市、勝浦市、君津市、富津市、南房総市、鴨川市、大多喜町の7市1町に跨っています。この区域の国有林は、標高300～400mの比較的低山域にあって房総丘陵を形成し、当所の木材生産や森林整備事業の拠点となっています。

木材生産にあたっては、従来、林内の立木を点状に抜き伐りする方法が採られてきましたが、近年では作業の安全性や作業効率の向上を図るため、植栽された木の列の1列を伐

採し、3列を残すというように、列状に伐採する「列状間伐」を実施しています。また、生産された木材は、国産材の需要拡大や加工・流通の合理化等に取り組む木材業者等と協定を締結し、木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。



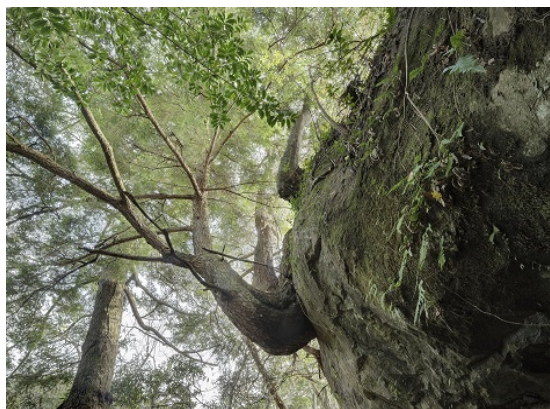
高性能林業機械を使用した森林整備



列状間伐された林内（戸崎国有林）

木材生産の拠点となっている一方で、原生的な森林生態系からなる自然環境の維持や遺伝資源の保存等を目的とする「保護林」に設定された森林もあります。

君津市の小坪井国有林にある元清澄山林木遺伝資源保存林には貴重なヒメコマツが存在しています。氷河期の遺存種といわれ、千葉県レッドデータブックにも掲載されています。現在、自生する成木は80本程度となっており、若い個体もほとんどありません。稚樹段階における「かさぶたがんしゅ病（菌糸侵入による病害）」やシカの食害等により天然更新が阻害されていることや、成木段階における松くい虫被害等により、個体群の絶滅が危惧されています。このため、千葉県農林総合研究センターや東京大学千葉演習林等と協力し、個体状況確認や薬剤の樹幹注入など、ヒメコマツの保護活動を行っています。



もとよすみやま
元清澄山林木遺伝資源保存林内のヒメコマツ



古木の根元から育ったヒメコマツの稚樹

（2）銚子市犬吠埼周辺の国有林

当所管内の国有林のうち45ヘクタールが千葉市、銚子市、長柄町の2市1町に所在し、千葉北部森林計画区として管理しています。うち9割が銚子市の海岸沿いにあり、国有林がある君ヶ浜海岸の一角は、太平洋に突き出た犬吠埼と白砂青松の君ヶ浜海岸の優美な風景が日本の海岸の原風景をとどめています。この付近は、全国でも有数のキャベツ生産地となっており、国有林は潮害防備保安林として農業や人々の生活に寄与しています。近年、松くい虫による被害が続いていることから、千葉県や銚子市と連携しながら、薬剤散布などによる防除対策を行っています。



銚子市君ヶ浜海岸（君ヶ浜国有林）



地上からの薬剤散布状況

また、この君ヶ浜海岸林付近は、観光客による空き缶等のポイ捨てや、近年は、粗大ゴミの不法投棄も散見されています。このため、例年5月に銚子市が行う「銚子ゴミゼロ運動」に当所も参加しており、君ヶ浜海岸の国有林の美化活動を行うなど地元と連携して景観維持に取り組んでいます。



職員による清掃活動

4 房総の山砂採取の今と昔

管内の君津市や富津市を中心とした地域は、2万年前の新第三紀時代の砂岩、泥岩、礫岩等の堆積岩類を基盤として、その上層部に粗粒の砂からなる市宿層いちじゆくと呼ばれる地層が広く分布しており、この付近の森林もこの地質で構成されています。この市宿層と呼ばれる堆積層は、厚いところで400mもあるといわれ、建設資材として良質な砂であることから、古くから首都圏の公共事業の建設資材向けに山砂が採取されてきました。

当所においても、高度経済成長期の昭和40年代から50年代にかけて、製品事業所を設置して山砂の直営生産・販売を行っていました。



きなだやま
鬼泪山製品事業所による山砂直営生産の様子
(不動谷国有林 昭和50年頃)

その後も、大型公共プロジェクトの建設資材として必要な分について、山砂採取業者に販売を行っており、近年では、平成8年から14年にかけて東京湾横断道路建設のために山砂採取が行われました。採取跡地は、国有林の緑化技術によって緑化復元され、現在に至っています。



山砂採取中の鬼泊山国有林
(平成13年当時)



緑化復元された鬼泊山国有林
(平成29年6月現在)

5 ボランティア・地域との交流

当所が管理する国有林は都市近郊に近く、都市住民の方が気軽に森林とふれあうことのできる環境にあります。このため、県内外の3団体と協定を結び、森林環境教育や森林とのふれあいの場として国有林のフィールドを提供しています。

活動団体の一つである地元のガールスカウト協議会は、小学生やその父兄の方が間伐や下草刈りの体験作業を行っています。こうした活動には当所の職員を森林教室の講師として派遣し、森林のもつ公益的機能などについて分かりやすく説明させていただいています。

地域の観光イベントにも参加しています。例年秋に開催される大多喜町の観光イベントでは、木工クラフト体験ブースを設置し、クラフト作りを通じて森林のもつ公益的機能をPRしています。この木工クラフト作りは好評で毎年参加していただいている方もいらっしゃいます。



下草刈り体験作業に参加したガールスカウトの皆さん



地元イベントでの木工クラフトブース

6 低コスト化の取組の推進

千葉県の森林は、私有林が約14万haで最も多く、以下、県・市町村有林約9千ha、国有林約8千haの順になっています。この私有林率の高さは全国2番目となっています。また、県内の林業事業者は、機械化や労働環境改善等の取組の認定を受けたいわゆる「認定

事業体」は8社にとどまっており、高性能林業機械の導入も進んでいるとは言い難い状況です。

林業の成長産業化に向け、今、国産材の安定供給体制を整備していくことが大きな課題です。こうした中で、当所では、より効率的で低コストの森林施業方法が広く普及していくよう、国有林のフィールドを使って、列状間伐や低コストな林業専用道開設についての現地検討会を開催しており、千葉県を担当者の方を含め、多くの方に参加いただいています。

今後、高性能林業機械を利用して伐採から地拵え、植栽までの作業を連続して行う一貫作業システムによる施業に取り組む予定であり、こうした取組についても積極的に現地検討会等を開催し、普及を図っていきたいと考えています。



列状間伐の現地検討会



林業専用道の現地検討会

7 結び

今、戦後造成した人工林の多くが本格的な利用期を迎えており、充実した森林資源を有効活用して林業の成長産業化や地方創生につなげようという動きが強まっています。

木質バイオマス発電向けの低質材の需要の高まりは、千葉県にも及んでおり、臨海部にある木質バイオマス発電施設向けの県内の低質材需要が増加しています。

当所においても木材需要の創出・拡大や、国有林で進めている低コスト施業技術の普及等、民有林と国有林の連携を一層進め、地域の課題解決に積極的に貢献するとともに、地域のご要望にしっかり応えてまいりたいと考えています。